

花 いっぱい

教育目標《子どもたちに 夢 笑顔 やる気 元気を!》



高野尾の絆のバトンをつなげ!

一致団結! 運動会

ふれあい運動会 9月25日(日)



すばらしい晴天のもと、今年も地域の皆様とともに、充実した思い出に残る「ふれあい運動会」を実施することができました。たくさんのご声援をありがとうございました。競技にご参加いただきました皆様、運営や準備・片付けでお力添えをいただきました皆様、本当にありがとうございました。

子どもたちは、みんなで決めたスローガンどおり、一致団結して全力を尽くし、絆をさらに深めることができました。先輩の中高生や大人の方々とともに活動したり、たくさんの方の声をいただいたりすることにより、地域への愛着を深め、いろいろな世代とのふれ合いやコミュニケーションを楽しむこともできました。

多くの方々から、「子どもたちの人数は少ないけれど、それを感じさせないパワーと結束力を感じました」、「ひたむきに演技に取り組む姿に感動しました」、「学校と地域が一体となって、こんなに楽しく盛り上がる運動会をしてもらって、うれしいです」などのお声をいただきました。

子どもたちも、一人ひとりがしっかりと力を発揮することができ、達成感・満足感でいっぱいでした。

保護者の皆様には、運動会に向けて、毎日の健康管理や励まし、準備などお世話になりました。ご協力に心から感謝いたします。

さて、10月に入り、連合音楽会の練習にも熱が入ってきました。6日にはラオスからゲストをお迎えして、国際理解集会を実施します。1・2年生の遠足、4年生の社会見学、サツマイモ・サトイモ・落花生・大豆などの収穫も予定されています。5・6年生の「会社をつくらう」の取組も、計画から実践の段階へと進みました。どの学年も、次の目標に向かって好発進です。

ありがとう!

運動会の振替休日に学校に遊びに来た4年生2人が、運動場のゴミを一輪車で集め、片付けてくれていました。自分たちの手できれいにしようと考え実行に移した、その気持ちがとても嬉しいです!



9月14日(水)に、4・5年生が稲刈りをしました。学校の餅米作りのために学習田を提供してくださっている青木克真さんをはじめ、高野尾・農地・水を守る会の方々が、子どもたちのために新しい「のこぎり鎌」も準備してくださいました。

鎌の使い方・刈り方を丁寧に指導していただいた後、子どもたちは稲をしっかりとつかんでザクッ、ザクッと気持ちよく刈っていきました。20名近くの方に傍らで支援をしていただき、予想以上にたくさんの稲を刈り取ることができました。稲束の結わえ方も教えていただきました。コンバインでの作業も見せていただき、子どもたちは地域の農業や米作りへの興味・関心を高めたようでした。12月の餅つき集会が楽しみです。



たとえば『浮いて待て!』～災害に備えて～



5・6年着衣泳

9月12日(月)に避難訓練を行いました。自然災害に対する子どもたちの危機意識は低く、何となく「自分たちは大丈夫」という安心感があるようで少し心配です。地震は学校以外の場所にいるときに起こっている確率が高いそうです。帰り道、歩いている時に、目の前の地面が突然割れる、橋が落ちる、自動販売機が倒れてくる・・・そんなことがあるかもしれない、という話をすると、みんな目を丸くしていました。

宮城県松島市の小学校では、毎年「着衣泳」の講習会を行っていたそうです。東日本大震災では、避難した体育館に津波が押し寄せましたが、訓練していた「浮いて待て」を実践して多くの子どもたちが助かりました。

本校でも、7月に高学年が「着衣泳」の体験をし、上手に浮く方法を学びました。服を着たまま水に落ちたら、慌ててもがいて助けを求めたりせずに、身体を浮かせて助けを待つことが命を守るいちばんの方法だと言われています。

台風などと違って地震や津波は早くから予測できません。いつ、どこで津波に襲われるかわからないのです。いつも高野尾のような高い場所(海拔約38m)にいるとは限らないのです。

平成19年4月に起きた三重中部地震(津市:震度5弱)の際は、建物倒壊等の大きな被害は多くありませんでしたが、津市内でも一部の地域で、断水、停電、携帯電話の一時不通等があり、かなりの混乱があったようです。



震度6以上の大地震の発生が危惧されている今、災害という不測の事態にいかに対処するかという、「対応力」の強化が必要です。学校でも防災教育の一層の充実に努めてまいります。ご家庭でも、改めて避難の方法や連絡の取り方等の確認、準備を十分にしておいていただきますようお願い致します。